

写真や動画を使用して、発表資料を分かりやすくまとめる

<期待される効果>

【児童・生徒】○写真や動画を提示することで、言葉では伝えづらい情報を説明しやすくできる。

【教師】○学習履歴を蓄積することで、これまでの学習を振り返らせ、学習の定着に役立てることができる。

<学習場面>

表現・作成（個別学習）



<機能・ツール>

【撮影】カメラ

【共有】

M365：Teamsファイル
Google：Googleドライブ
ロイロ：提出箱、資料箱
ミライシード：オクリンク

<モデル事例>

（学習支援クラウド活用の概要）

①実験の様子を写真や動画で記録し、シート等に添付して共有する。

②共有した写真や動画を基に話し合い、課題を解決する。

<ポイント>

○目的に合わせて対象物を撮影するように事前に指導する。

○理科で観察を行う学習では、写真・動画ファイルを蓄積することで時間の経過を踏まえた様子の変化を把握しやすい。

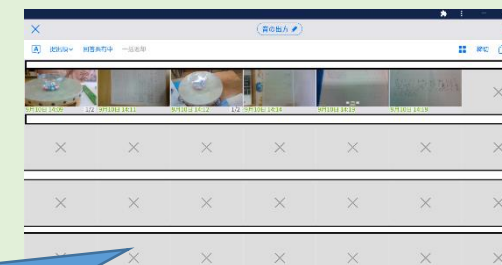
<注意点>

○動画の容量に注意する。容量が大きすぎると操作しづらくなる。

○タブレット等を持ち運び、カメラを使って撮影する技術が必要になるため、段階的な指導が必要である。



見て捉えづらい事象でも動画で見返すことで分かりやすくなる。



グループの代表が実験の様子を共有することで他の班の実験の様子も把握することができる。

<ハッシュタグ>

#初級 #撮影機能 #ファイルの共有 #ポートフォリオ #ファイルの蓄積 #繰り返し学習